

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 敬寿会	代表者	理事長 金澤壽香	法人・ 事業所 の特徴	社会福祉法人敬寿会基本理念 1. プライバシーの保護 2. 自主性の尊重 3. 自立支援 4. 個別援助計画に基づく生活支援・介護介助 各施設ではご利用者様本位の施設づくり、職員一人ひとりの資質とマナーの向上、ご利用者様・ご家族様から信頼される職員体制の確立、地域に密着し開かれた活動を展開し、地域福祉に貢献することを運営方針としております。
事業所名	埼玉さくらんぼⅡ番館 小規模多機能型居宅介護	管理者	施設長 林芳博 管理者 有馬康之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	4人	1人	1人	1人	0人	3人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	①毎月1回以上のミーティング（カンファレンス）を行う。 ②社内の研修・委員会への参加	職員一人ひとりが計画・目標について把握していなかった。しかし、定期的にミーティングや研修・委員会参加は出来ていた。	取組み結果について、その改善計画が具体的に立てられているか「わからない」と意見があった。	各項目の取組状況で「よくできている」「なんとかよくできている」が半数以上を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	季節を感じる制作物をご利用者と共に作成する。	定期的に制作物を作成し、館内に掲示が出来た。作成した制作物をみていただきたい。	「事業所は、居心地がよい空間になっていますか」の問いに「わからない」との意見があった。	運営推進会議開催時、出席者には小規模多機能内を見学してもらう。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方々への挨拶の徹底。地域包括支援センター主催の会議への参加。	面会者が来た際には、挨拶は出来ていた。地域支援会議には参加出来ていた。	「事業所は相談しやすい場所になっているか」の問いに「わからない」との意見があった。	地域の方を対象とした介護保険制度に関する内容や埼玉さくらんぼ館についての説明をする機会を設ける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご利用者にレクで雑巾を縫っていただき、小学校へ寄付する等具体的な活動をする。	小学校では無かったが、埼玉幼稚園との交流が出来た。	「利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか」の問いに「いいえ」「わからない」との意見があった。	地域交流センターを活用し、利用者と地域住民との交流が出来るよう取組む。
E. 運営推進会議を活かした取組み	ヒヤリハットを多く出していき対策を考え、大きな事故を起こさない。万が一、事故が起きた際は、カンファレンスを開催し対策する。	ヒヤリハットの件数は少なかった。事故発生後のカンファレンスは実施出来ていた。	「運営推進会議では、地域の心配な方等の事例検討が行われていますか」の問いに「いいえ」「わからない」との意見があった。	地域での取組み「いきいき百歳体操」を地域交流センターで開催が出来るよう準備をすすめる。
F. 事業所の防災・災害対策	さくらんぼ館として行う水害対策について訓練・研修に参加する。	水害対策訓練は実施し出来た。その他、火災・地震対策訓練も実施できた。	「さくらんぼ館の災害計画について知っていますか」の問いに「いいえ」「わからない」との意見があった。	運営推進会議時に、防災に関する内容について話し合い、さくらんぼ館の災害計画について知ってもらう。